

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	レンタサイクル事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車を、市民の利用に供することで、近距離移動の利便性を向上し、合わせて放置自転車の防止を図る。				
6年度概要	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：850台				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	市街地中心部における主要鉄道駅利用者 （ＪＲ高松駅、ＪＲ栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、琴電栗林公園駅）
意図（どのような状態にしたいか）	自転車を近距離交通機関の一つとして市民の利用に供することで、地域交通の利便性の向上及び自転車の放置防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
レンタサイクルの利用可能日数	日	365	365	366	365	366

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）	台	目標値	3,000	2,600	1,300	1,050	1,300
			実績値	1,189	1,110	841		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 商店街クリーン作戦の実施など周知啓発を図るとともに、放置自転車の撤去を継続的に実施したことで、目標値を上回った。							(達成度) 135.3%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	レンタサイクルの利用延べ人数	人	目標値	323,500	326,000	271,200	172,200	271,200
			実績値	213,918	150,625	163,131		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年4月に、新たにスマートフォンのアプリを活用した登録申請やキャッシュレス決済が可能なレンタサイクルシステムを導入した。これにより、利用者の利便性の向上を図ったが、各ポート利用者が減少したことにより、目標の達成には至らなかった。							(達成度) 60.2%
								21点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	132,295	70,044	71,131	73,234
（事業費）	〔円〕	125,877	61,961	63,002	66,234
（職員人件費）	〔円〕	6,418	8,083	8,129	7,000

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
市民観光客の行動変容を捉え、スマートフォンアプリを活用した登録申請やキャッシュレス決済などを取り入れた新たなレンタサイクルシステムでの運用を令和4年4月から開始している。利用者数は、令和4年度と比較し、増加したものの、目標値までには至らなかった。引き続き、事業の収支改善に向け、管理運営の効率化を進めるとともに、新規利用者の増加を目指す。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
令和4年4月に運用を開始した新システムを生かした利用促進によって、利用料収入を増加させるとともに、事業規模の見直しによる管理経費の削減により収支改善を目指す。 また、全国展開しているシステムを効率的に活用し、民間事業者との連携も視野に、将来的な事業の在り方を検討する。			

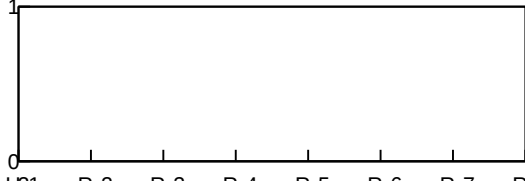
令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策		快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	道路整備課
	施策		自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2516
	基本事業		快適な自転車利用のための環境整備	事業実施主体	市	
	事務事業		自転車利用環境整備事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】						
事業の概要	平成20年11月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会、高松地区委員会、安全空間確保部会（国・県・市・警・市で構成、以下「安全空間確保部会」）において策定した、高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に基づき、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。					
6年度概要	市道五番町西宝線ほか29路線 自転車通行空間の整備 東浜港多賀線					
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】						
対象（何を）	対象施設：「自転車ネットワーク整備方針」に位置付けられている市道 対象者：自転車利用者					
意図（どのような状態にしたいか）	自転車走行指導帯等を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。					

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
単年度自転車道等整備延長		k m	0.4	0.6	0.2	0.1
						1.8

【事業の成果】						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4
	自転車道等整備済延長		k m	目標値	13	14.1
				実績値	11.2	11.8
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和5年度においては、浜ノ町宮脇線において、車道混在（矢羽根型路面標示）を0.2km整備したが、目標値は達成できなかった。 				R 5	R 6
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4
				目標値		
				実績値		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 				R 5	R 6

【コストの推移】						
指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）	
トータルコスト	〔円〕	77,637	29,802	33,673	49,554	
（事業費）	〔円〕	54,987	14,834	18,619	34,500	
（職員人件費）	〔円〕	22,650	14,968	15,054	15,054	

【評価】			
評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
浜ノ町宮脇線において、路面標示（矢羽根）の設置を実施した。なお、今後の事業実施については、「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき、計画的に整備予定路線の事業に着手していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後とも国・県と連携しながら効率的な整備を進めるために、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」において改定した「高松市自転車ネットワーク計画（路線網図）」に基づき計画的に整備を進めるとともに、同協議会等において整備効果等を共有しながら、より効果的で効率的な整備手法の検討など、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」の見直し等についても協議を行う。			